



## 2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月13日

上場会社名 Hamee株式会社  
コード番号 3134  
代表者(役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者(役職名) 経営企画部マネージャー  
配当支払開始予定日 —

上場取引所 東  
URL <https://hamee.co.jp/>  
(氏名) 水島 育大  
(氏名) 國井 俊樹 (TEL) 0465-25-0260

決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無 (2024年9月17日に当社ウェブサイト  
(<https://hamee.co.jp/ir/library/video>)にて決算概  
要を説明した動画を掲載する予定です。)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年4月期第1四半期の連結業績(2024年5月1日~2024年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	4,578	38.1	223	28.3	196	△3.7	101	—
2024年4月期第1四半期	3,316	6.8	174	△29.9	203	△31.4	△132	—

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 248百万円(68.8%) 2024年4月期第1四半期 147百万円(△57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	6.37	6.37
2024年4月期第1四半期	△8.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第1四半期	15,294	10,052	65.2
2024年4月期	14,512	10,157	69.3

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 9,967百万円 2024年4月期 10,063百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,745	12.1	2,084	8.7	2,051	1.6	1,362	21.5	83.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年4月期1Q	16,294,400株	2024年4月期	16,286,400株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	355,575株	2024年4月期	355,575株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年4月期1Q	15,935,346株	2024年4月期1Q	15,916,263株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、6月の日銀短観によると大企業全産業のD I（業況判断指数）が製造業では2四半期ぶりの改善、非製造業では2020年6月以来、4年ぶりに悪化となり、全体の景況感には強弱が交錯しました。一方、歴史的な円安水準による原材料高や、人件費の上昇に加え、海外経済においても米国大統領選挙動向やロシアのウクライナ侵攻やイスラエル内戦などのリスク要因も長期化しており、依然として先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

このような経営環境の下で、当第1四半期連結累計期間における当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、グローバル事業の一部費用の配賦方法を変更しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の算定方法に基づいております。

#### ① コマースセグメント

##### a. モバイルライフ事業

前連結会計年度に引き続きiPhone以外の機種向け商品や、市場トレンドを取り入れたモバイル関連アクセサリーの市場投入に加え、人気IPコンテンツとのコラボレーション企画など主力商品であるiFaceシリーズの拡販に注力いたしました。具体的には5月にGoogle Pixel 8a専用スマートフォンケース、人気キャラクターとiFaceのコラボ商品を発売いたしました。また、6月には透明なガラスの美しさと耐衝撃性を兼ね備えた「Reflection」シリーズの累計出荷が700万個、全面クリア素材で作られた「Look in Clear」シリーズの累計出荷が100万個を突破いたしました。更に7月には「Hang and」シリーズから人気のベージュカラーをベースに秋冬向けのショルダーストラップを市場に投入いたしました。「Hang and」シリーズにおいては累計22万個を超えるヒット商材となっております。これらの施策により、卸販売は伸び悩んだものの、小売の売上高は前年同期比9.3%増と回復傾向が見られた結果、売上高は前年同期比1.6%増となりました。

##### b. コスメティクス事業

コスメティクスブランド「ByUR（バイユア）」は前連結会計年度の好調さを引き続き維持しており、売上高が期初計画を上回る状態にて推移しており、中核事業へ成長し続けております。ブランド累計のコスメアワードも137冠を達成し、認知がこれまで以上に拡大しています。更に、新規卸販売先との契約は引き続き堅調であり、マーケティング戦略を駆使しながら導入店舗を慎重に検討した結果、ByUR導入店舗数は約5,500店舗となりました。また、ブランド初のUVケア商品などの新商品発売やECモールのセールがあったことで順調に推移した結果、売上高は前年同期比186.5%増となりました。

##### c. ゲーミングアクセサリー事業

ゲーミングモニターブランド「Pixio（ピクシオ）」は前連結会計年度から販売が好調なホワイト、パステルカラーモデルのゲーミングモニター及びモニターアームなどの周辺機器が牽引役となり、Amazon Prime dayなどECモールのセールにおいて販売が拡大いたしました。加えて、新規EC店舗取引先との契約、家電量販店及び電子機器販売店などとの取引も拡大した結果、売上高は前年同期比284.5%増となりました。

##### d. グローバル事業

米国市場、韓国市場及び中国市場において、販売が好調なコスメティクス事業での売れ筋商品や新商品などのグループ間取引が増加した結果、連結消去後の売上高は前年同期比2.7%増となりましたが、グループ外に対する売上高は販売が好調に推移した結果、前年同期比23.9%の増収となりました。

営業利益については減益となりましたが、新商品展開を行うモバイルライフ事業及びコスメティクス事業の在庫増加に伴う未実現利益の控除額の増加、また、韓国におけるコスメティクス事業、米国オタマトーンの売上拡大に係るマーケティング費用及び物流費などが主な要因となっております。

これらの結果、コマースセグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は3,678,025千円(前年同四半期比44.9%増)、セグメント利益(営業利益)は134,117千円(同14.1%減)となりました。

## ② プラットフォームセグメント

## a. ネクストエンジン事業

2023年6月にサービス価格を改定し、基本利用料を月額10,000円から3,000円に引き下げたことで、EC販売における流通額が小規模な事業者様への間口が広がると同時に、従量課金の基礎となる受注処理件数の増加が利用料金に反映されやすくなったことに起因して、2023年11月の新サービス価格の既存ユーザーへの適用開始以降、ARPUが向上する傾向が続いております。また、コロナ禍の反動でモノ消費からコト消費へシフトした消費行動の変容にも落ち着きが見られ、EC市場への消費回帰の兆しが見られました。

一方で、基本利用料の引き下げに伴い顧客ターゲットが広がったことから、従来とは異なるマーケティング手法が求められているため、当第1四半期においてリード獲得の効率が低下し、契約純増数の目標88社に対し実績は若干のビハインドとなるなど、契約社数の伸びについては課題を残す結果となりましたが、無料契約から正式契約への転換率向上と、解約率の低位維持に注力することで、総契約社数は6,329社（前連結会計年度末比73社増）となりました。これらの結果、ネクストエンジン事業の売上高は前年同期比18.6%増となりました。

## b. ロカルコ事業

前期において新規に契約を獲得した自治体の貢献もあり、当第1四半期のふるさと納税支援サービスは前年実績を超えて推移いたしました。また、本年4月に事業譲受により取得いたしました、伝統工芸品のEC販売事業については、在庫の安定供給という仕入先（工芸職人）の課題があるものの、ふるさと納税支援サービスの契約自治体内で仕入先を開拓するなどの地道な活動により販売機会の拡大に努めました。これらの結果、ロカルコ事業の売上高は前年同期比28.6%増となりました。

## c. コンサルティング事業

引き続きコンサルタントのリソース確保（採用と定着率の向上）という経営課題があることから、現有リソースの稼働率最大化と採算管理の徹底を意識した活動を継続しております。そのため、売上自体は前年同期に比して12.8%減となっておりますが、案件ごとの採算管理、コンサルタントの稼働率向上、コスト見直しなど、収益性を重視した取り組みに注力した結果、営業利益の実績は前年を大きく上回ることが出来ました。

## d. エンサーモール事業

新規事業開発の成果として前期にβリリースをした、メーカーと小売店を繋ぐ新たな卸売マーケットプレイス「encer mall（エンサーモール）」の運営に係る事業であり、当第1四半期については正式リリースに向けた会員企業の勧誘などマーケティング活動と研究開発活動が主な内容となっております。

これらの結果、プラットフォームセグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は904,654千円（前年同四半期比15.7%増）、セグメント利益（営業利益）は482,447千円（同38.2%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,578,874千円（前年同四半期比38.1%増）、営業利益は223,417千円（同28.3%増）、経常利益は196,175千円（同3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101,477千円（前年同四半期は132,514千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ782,208千円増加し、15,294,680千円となりました。これは主に、商品が818,058千円増加したこと、その他の流動資産が498,419千円増加したこと、繰延税金資産が69,740千円増加した一方で、現金及び預金が379,318千円減少したこと、受取手形及び売掛金が183,677千円減少したこと、のれんが39,947千円減少したことなどの結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ886,492千円増加し、5,241,826千円となりました。これは主に、短期借入金が1,100,000千円増加したこと、未払金が84,201千円増加した一方で、未払法人税等が247,116千円減少したこと、長期借入金が52,530千円減少したことなどの結果によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ104,284千円減少し、10,052,854千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が159,734千円増加した一方で、利益剰余金が256,969千円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年6月14日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,021,675	3,642,356
受取手形及び売掛金	2,367,883	2,184,205
商品	2,791,349	3,609,407
仕掛品	4,544	12,163
原材料及び貯蔵品	80,037	101,062
その他	1,410,988	1,909,408
貸倒引当金	△44,017	△45,700
流動資産合計	10,632,462	11,412,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	830,184	867,702
減価償却累計額	△202,805	△228,724
建物及び構築物（純額）	627,378	638,977
車両運搬具	3,932	4,068
減価償却累計額	△1,729	△1,992
車両運搬具（純額）	2,203	2,076
工具、器具及び備品	1,074,720	1,163,037
減価償却累計額	△770,248	△868,015
工具、器具及び備品（純額）	304,471	295,021
使用権資産	408,754	428,966
減価償却累計額	△268,590	△316,907
使用権資産（純額）	140,164	112,059
土地	367,820	383,918
建設仮勘定	7,860	1,281
有形固定資産合計	1,449,898	1,433,335
無形固定資産		
のれん	496,487	456,540
ソフトウェア	285,097	283,830
商標権	20,372	22,684
その他	29,171	28,688
無形固定資産合計	831,129	791,743
投資その他の資産		
投資有価証券	643,592	645,689
関係会社株式	349,106	345,188
長期貸付金	16,418	15,879
退職給付に係る資産	170,367	146,431
繰延税金資産	324,775	394,516
その他	123,231	139,824
貸倒引当金	△28,510	△30,832
投資その他の資産合計	1,598,982	1,656,697
固定資産合計	3,880,010	3,881,776
資産合計	14,512,472	15,294,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	369,736	349,673
短期借入金	1,200,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	210,120	210,120
未払金	935,374	1,019,576
未払費用	226,482	232,434
未払法人税等	362,724	115,607
賞与引当金	18,093	16,112
その他	190,093	213,216
流動負債合計	3,512,623	4,456,740
固定負債		
長期借入金	774,860	722,330
資産除去債務	12,375	12,804
その他	55,474	49,951
固定負債合計	842,709	785,085
負債合計	4,355,333	5,241,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	598,524	605,640
資本剰余金	545,014	552,130
利益剰余金	8,599,706	8,342,737
自己株式	△341,799	△341,799
株主資本合計	9,401,446	9,158,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,665	54,189
為替換算調整勘定	595,305	755,040
その他の包括利益累計額合計	661,971	809,229
新株予約権	93,721	84,915
純資産合計	10,157,139	10,052,854
負債純資産合計	14,512,472	15,294,680

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2024年7月31日)
売上高	3,316,762	4,578,874
売上原価	1,279,197	1,841,348
売上総利益	2,037,564	2,737,526
販売費及び一般管理費	1,863,400	2,514,108
営業利益	174,163	223,417
営業外収益		
受取利息	202	353
為替差益	11,164	—
広告料収入	1,385	10,700
貸倒引当金戻入額	—	9,277
その他	23,056	5,916
営業外収益合計	35,809	26,248
営業外費用		
支払利息	3,405	6,285
支払保証料	1,826	1,741
持分法による投資損失	595	5,207
為替差損	—	30,187
その他	527	10,068
営業外費用合計	6,354	53,489
経常利益	203,618	196,175
特別利益		
新株予約権戻入益	1,887	3,774
特別利益合計	1,887	3,774
特別損失		
固定資産除却損	887	—
特別損失合計	887	—
税金等調整前四半期純利益	204,617	199,949
法人税、住民税及び事業税	77,164	128,503
法人税等調整額	259,967	△30,031
法人税等合計	337,132	98,472
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△132,514	101,477
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△132,514	101,477

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2024年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△132,514	101,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,197	△12,476
為替換算調整勘定	260,674	159,734
その他の包括利益合計	279,871	147,258
四半期包括利益	147,357	248,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,357	248,736
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,537,385	779,376	3,316,762	—	3,316,762
外部顧客への売上高	2,537,385	779,376	3,316,762	—	3,316,762
セグメント間の 内部売上高又は振替高	213	2,335	2,548	△2,548	—
計	2,537,599	781,711	3,319,311	△2,548	3,316,762
セグメント利益	156,057	349,116	505,174	△331,010	174,163

(注) 1 セグメント利益の調整額△331,010千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	3,678,025	900,849	4,578,874	—	4,578,874
外部顧客への売上高	3,678,025	900,849	4,578,874	—	4,578,874
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	3,805	3,805	△3,805	—
計	3,678,025	904,654	4,582,680	△3,805	4,578,874
セグメント利益	134,117	482,447	616,564	△393,146	223,417

(注) 1 セグメント利益の調整額△393,146千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、グローバル事業の一部費用の配賦方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	164,037千円	172,810千円
のれんの償却額	26,439	29,587